

# スポーツ法制シンポジウム

## スポーツ法の現在

～東京2020オリンピック・パラオリンピック競技大会の成功に向けて～

場所

立教大学 池袋キャンパス 11号館地下1階 AB01 教室

日時

2017年9月6日(水) 9:00～20:00

2017年9月7日(木) 9:30～11:30

### 【9月6日】

#### セッション1 国際競技大会の開催

室伏 広治氏「東京組織委員会-日本の視点からの東京オリパラへの挑戦」

Stephan Netze氏「スポーツイベントのコアバリューの保護」

モデレーター：Christian Schwarzenegger氏

#### セッション2 世界アンチ・ドーピング規程の履行

浅川 伸氏「東京オリパラにおけるアンチ・ドーピングの問題」

杉山 翔一氏「2015年世界アンチ・ドーピング規程改訂により新たに生じた問題点」

Stephan Netze氏および Ulrich Haas氏「ロシアドーピングスキャンダルの対策－現状と学ぶべき教訓」

モデレーター：早川 吉尚

#### セッション3 国内アンチ・ドーピング法の制定

今泉 柔剛氏「日本のアンチ・ドーピング法の起草」

Christian Schwarzenegger氏および Gian Ege氏「ドーピングの刑罰化とスポーツ団体と警察組織の協力」

モデレーター：小川 和茂

#### セッション4 ガバナンスとインテグリティ

小川 和茂「日本のスポーツ団体のガバナンスとインテグリティ」

Egon Franck氏「クラブファイナンシャルフェアプレイ-財政的観点からのグッド・ガバナンス」

モデレーター：望月 浩一郎氏

### 【9月7日】

#### セッション5 スポーツ仲裁

Stephan Netze氏および Ulrich Haas氏「スポーツ仲裁に至る前の団体内紛争解決制度」

Stephan Netze氏および Ulrich Haas氏「スポーツ仲裁の『スピード』について」

Stephan Netze氏および Felix Dasser氏「スポーツ仲裁におけるスイス法の重要性」

モデレーター：早川 吉尚